

審議会等の会議の記録

会議の名称	伊勢崎市中心市街地にぎわい創出拠点整備に係る検討委員会 第4回検討委員会
開催日時	令和4年8月25日(木) 午前10時00分～午前11時35分
開催場所	伊勢崎市役所東館5階第4会議室及びオンライン上
出席者氏名	(委員)五十音順 オンライン参加:秋山委員、笠原委員、堤委員長、村上委員 会場参加:大前副委員長、加藤委員、牧委員 (事務局) 細井企画部長、新井企画部副部長、小此木事務管理課長、 土谷行政改革係長、齋藤係長代理 (オブザーバー) 伊勢崎織物協同組合 矢島事務局長
傍聴人数	—
会議の議題	1 開会 2 委員長挨拶 3 協議事項 (1) 「伊勢崎市中心市街地にぎわい創出拠点に関するサウン ディング調査要領(案)」について (2) その他 4 閉会
会議資料の内容	資料1 「伊勢崎市中心市街地にぎわい創出拠点整備に関するサ ウンディング調査要領(案)」

会議における
議事の経過
及び発言の要旨

1 開会 新井副部長

2 委員長挨拶

今回は、第3回委員会までの協議内容を基にサウンディングに向けて、事務局と案をまとめた資料（資料1「伊勢崎市中心市街地にぎわい創出拠点整備に関するサウンディング調査要領（案）」）について、皆様のご意見をお伺いしていきます。

3 協議事項

(1) 「伊勢崎市中心市街地にぎわい創出拠点に関するサウンディング調査要領（案）」について

(事務局説明) 小此木事務管理課長

(委員)

- ・調査対象は法人に絞っているということについてお伺いします。
- ・参加意向を前提としたサウンディングということによろしいのでしょうか。
- ・ノンプロフィット（民間非営利団体）を対象にするのかについては、どのようにお考えでしょうか。

(委員長)

- ・参加者は制限したくないと考えます。
- ・サウンディング調査要領に「個人」という文言も入れても問題ないと思います。

(事務局)

- ・「個人」等の参加を制限することなどの特段の意図はありませんので、記載の仕方について調整します。

(委員)

- ・資料1については、前回までの検討結果を【公共部門】、【民間運営部門】ということで、短期間でわかりやすくまとまっている内容となっていて、このような方向性で良いと思います。

(委員)

- ・資料1の【公共部門】学習スペースの記載については、幅広い年齢層が対象になった方が良いのではないのでしょうか。「高齢者」にも配慮すべきであるし、「主に学生・児童向け自習スペース」と限定して記載しない方が良いと思います。

(委員長)

- ・その点も議論の必要があると感じていたところです。
- ・資料1【公共部門】の「主に学生・児童向け自習スペース」の意図については、赤石楽舎との連携の可能性を示唆しており、「赤石楽舎＝児童・学生（無料）」、「企画スペース＝一般・社会人・法人（登録制・有料）」、「情報発信＝広く一般（高齢者も含む。）、休憩スペース」等々の住み分けを連想してまとめたところです。

(委員)

- ・資料1の【公共部門】の導入機能として「図書館」という記載がありますが、前回までの検討結果を踏まえると「図書スペース」という記載の仕方が相応しいと思います。「図書館」というより、図書館機能の一部を持ってくるという方向で今まで議論し、委員会の案としてまとまってきたという認識です。

(事務局)

- ・特段の意図があるということではなく、機能の大項目として、「図書館」という記載に至ったということになります。

(委員)

- ・「図書スペース」という記載に変更する方が良いと考えます。

(委員)

- ・資料1について、前回までの検討結果を【公共部門】、【民間運営部門】ということで、わかりやすく短期でまとまっている内容であるという点は同感です。
- ・【公共部門】の「図書館」については、現状の図書館を強化する付加機能ということでイメージしていました。
- ・【公共部門】の「情報発信」、「企画スペース」については、お互いの相乗効果を狙った役割が果たせたら良いと考えており、「コワーキングスペース」や「休憩スペース」といったものが常設で必要であり、文言として記載した方が良いと思います。

(委員長)

- ・「コワーキングスペース」については、【民間運営部門】のイキュベーションスペースやレンタルスペースで補い、整理できると考えていました。常設の休憩スペースについては、情報発信ブースに常設で設置しても良いし、企画スペースに常設で設置という整理もできるのではないのでしょうか。

(委員)

- ・展示だけだと連想してしまうのではなく、創業・販売に繋げられるような場所づくりをしたいと思うが、そのためには興味を持ってもらえるようにサウンディングの手法や参加者への周知が重要だと考えます。
- ・サウンディングの周知は、Webで行うのか、指定の事業者へ通知を送る形で実施するのか、県内外の法人にどのように参加を促すのか教えてください。
- ・にぎわい創出に向けたまちづくりの概要をサウンディングで伝えることも必要であると考えます。サウンディング時におけるまちづくり概要資料の提供についても事務局で検討してください。

(委員長)

- ・まちづくりへの取組概要資料については、本委員会の会議資料や議事録が該当するのでしょうか。または新保健センターの概要

を説明いただいた際の概要資料のような「施設のコンセプトをまとめた資料」を事務局でご用意いただきサウンディングの補足資料とすることも検討してください。

(委員)

- ・資料1の【公共部門】及び【民間運営部門】から判断すると、子ども向けスペースが広くなりそうだなという印象を受けます。近隣には保健センターが新設され、子育て支援機能を担っているということから、「子ども向け機能＝保健センター」、「一般・法人・個人事業主向け情報発信機能＝検討中の施設」と整理して考えた方が良いと思います。その点から、検討中の施設については、子ども向け機能のスペースは必要ない気がしています。

(委員長)

- ・個人の意見としては、赤石楽舎に児童・学生向け学習スペースを集約するという点でも良いのではないかと思います。
- ・市としての赤石楽舎に係る方針があると思いますので、市内部での検討により、方針を明確に示していただければと思います。

(委員)

- ・図書館の現状や北小学校の利用の現状、運営を管理する事務員の配置状況等を考えると、学習スペースについて赤石楽舎に集約するという整理については違和感があります。
- ・元々は、図書館が手狭で駐車場の使い勝手が悪い等の様々な課題を解決する案として、図書館の一部機能の移転という点が話の始まりであったと思います。

(委員長)

- ・そういった点からは、学習スペースを集約して赤石楽舎の会議室を利用し、さらには同施設の展示スペース等についても、一体管理をすれば、手狭である点は解決できると考えました。

(委員)

- ・赤石楽舎の現状は北小学校が優先であることから、学習スペースや展示スペースなど、きちんと管理する事務員の配置の必要があると思っています。そのような管理の面から、図書館にある静かな学習スペースをそのまま赤石楽舎に持ってくるということは困難だと理解していました。

(委員)

- ・図書機能を赤石楽舎に持ってきて、学習スペースは織物会館の検討施設に持ってくるという整理でいかがでしょうか。赤石楽舎に図書館が一体化すれば小学校の児童の利用も促進できると思います。学習スペースについては、学生の受験勉強や社会人の資格取得での利用が多数を占めると推測されるので、資格取得を考える社会人や学生が勉強の合間に起業や創業の情報発信に何げなく触れられる、マッチングで新しい出会いを得るといった場所づくりができれば良いし、機能としても整理しやすいの

ではないでしょうか。

(委員)

- ・「赤石楽舎＝図書機能を集約」、「織物会館の検討施設＝(起業・創業)情報発信機能」というのは良い案だと思います。子ども(児童)向けスペースは「新保健センター」に集めてもらえば機能としてすっきりして良いと考えます。

(委員)

- ・市として赤石楽舎の活用について検討をお願いします。全ては、市として赤石楽舎をどのように活用していくかという方針に関係してくると思っています。

(委員長)

- ・サウンディング調査要領の記載については、「図書館スペース」「学習スペース」は「図書・学習スペース」にとりまとめ内容を整理し、「情報発信」「企画スペース」「図書・学習スペース」の順に記述したほうが良いです。
- ・3点気になる事項のうち、1点目は「伊勢崎織物会館の既存建物の活用についての検討」という項目の追加について、2点目は「サウンディングスケジュールにおける現地見学会と合わせての質問回答が望ましい」という意見と、3点目は「サウンディングに参加した事業者に対する公募時の加点評価について(インセンティブの問題)」です。
- ・1点目の「伊勢崎織物会館の既存建物の活用についての検討」という項目の追加について、織物会館の増改築についての可否について協議したいため、事務局又はオブザーバーからご意見ををお願いします。

(事務局)

- ・増改築の可能性について記載がないことについて、事務局として特に意図はありません。伊勢崎織物協同組合の意向が第一であると認識しています。

(オブザーバー)

- ・施設としては、現状、トイレが男女共用となっている点が時代にそぐわないため気になっているところです。解体か増改築か方針が決定すれば伊勢崎織物協同組合内部で説明が必要となります。

(委員長)

- ・サウンディング後協議決定すれば、特に問題はないと判断できますので、サウンディングでは「伊勢崎織物会館の既存建物の活用について検討」という文言を記載することとします。
- ・2点目は「サウンディングスケジュールにおける現地見学会と合わせての質問回答が望ましい」という意見について、事務局からの方針を説明してください。

(事務局)

- ・一般的なサウンディングスケジュールとして、参加事業者どう

しの接触がないようにという配慮から個別ヒアリングという手法を予定しました。

(委員長)

- ・ 現地見学会と同時に個別にヒアリング回答を行うことで接触を避ける対策もできると考えますので検討をお願いします。現地見学会とヒアリングの同時実施は、リアルな意見が反映でき意義のあるサウンディングになると実感していますので、ぜひ検討及び実施をお願いします。
- ・ 3点目は「サウンディングに参加した事業者に対する公募時の加點評価について（インセンティブの問題）」です。事務局の方針について説明してください。

(事務局)

- ・ 資料1については、実施主体が検討委員会としての要領の記載事項という位置付けであるため、「市として加點を検討（考慮）します。」という文言であれば記載可能という認識です。

(委員)

- ・ 資料だけを見ると「ハコをつくる」事業という印象が強いため、なかなか提案しにくい内容ではないかと感じている。実際は、地元思い入れのある人が関わらないと結果的に上手くいかないと考えるため、「地域の人に関わる優位性を考慮したプロポーザルを可能にできる」といった内容が読み取れないとサウンディングに参加する魅力を感じないのではないのでしょうか。

(委員長)

- ・ 資料1の記載内容としては、【公共部門】、【民間運営部門】の順番で記載されているが、上から【民間運営部門】、【公共部門】と記載の順番を変えることで印象が変わると思います。
- ・ 現状の市役所等については、土日は機能していないという認識ですから、インキュベーション機能という点では土日も対応できる施設でないという意味がないし、産学連携の事業を加えたインキュベーションの施設であれば意味があると考えます。

(委員)

- ・ スモールビジネスを行う事業者が出店しやすい書き方が必要だと思います。例えば「提案した事業者は優先的に安価でチャレンジショップ、レンタルスペース、インキュベーションスペースを利用できる。」といった記載はどうでしょうか。

(委員長)

- ・ 優先的に安価で利用というアイデアはとても良いと思います。

(委員)

- ・ 「個人事業主」にメリットを感じられるような書き方が必要だと考えます。

(委員)

- ・「全ての調査項目に対してお答えいただかなくても結構です。」といった記載よりも、様々な個人事業主を配慮して「項目の一部が提案できない場合であっても、ある一部分の項目のみの提案でも参加可能です。」と記載した方が文章としてわかりやすいです。

(委員)

- ・「サウンディングの通知・周知の方法はどのように考えているか具体的に事務局から説明してください。

(事務局)

- ・市のホームページはもちろん、PPP/PFIに積極的に取り組んでいる全国的な事業者と直接連絡し、周知することを予定しています。また、商工会議所及び金融懇話会にも直接周知させていただく予定です。

(委員)

- ・商工会議所等地元事業者にはぜひ直接周知をお願いします。

(委員長)

- ・商工労働課が担当の【まちなか発見ワークショップ事業「まちなか宝さがし」(事務局：産業経済部商工労働課)】等とタイアップするなど、商工労働課で周知する地元事業者のリストアップを行ってサウンディング周知及び通知を実施してください。ぜひ市役所内での部署連携をお願いします。連携によって、それぞれの事業の成果が出ることを期待しています。

(委員)

- ・検討委員会のメンバーがサウンディングに参加することも可能でしょうか。

(事務局)

- ・資料1「第3サウンディング調査の内容」の「1 サウンディングの調査の対象」に記載のある条件のほか、参加を妨げるものはありません。

(2) その他

(事務局)

- ・第5回検討委員会の開催についてはサウンディング結果の取りまとめ後を予定しています。
- ・スケジュールについては、決定次第連絡します。

4 閉会 新井副部長

(終了：午前11時35分)